



注目④ プロジェクト区分を7つに変更！

平戸市「やらんば！平戸」応援基金条例の一部改正について

平戸市未来創造羅針盤「第2次平戸市総合計画」（平成30～39年度）の策定に伴い、これまで「やらんば！平戸」応援寄附金（ふるさと納税）を財源として実施する事業を「輝く人づくりプロジェクト」「宝を磨き活かすプロジェクト」「ずっと住みたいまち創出プロジェクト」の3区分としていたものを、以下の7つのプロジェクト区分に変更しました。

1 きずなをつなぐプロジェクト【協働、地域コミュニティ、シビックプライドに関する取り組み】

◎重点的な取り組み 市民と地域、行政の連携による持続可能な集落形成の推進 など

2 しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 市内企業などの魅力度アップ・活性化に向けた支援の推進 など

3 ひとをそだてるプロジェクト【子育て、教育に関する取り組み】

◎重点的な取り組み ICTを活用した教育や英語教育などの積極的な推進 など

4 暮らしをまもるプロジェクト【保健、医療、福祉に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 地域医療体制の充実 など

5 まちをつくるプロジェクト【定住・移住、自然環境、生活基盤に関する取り組み】

◎重点的な取り組み UIターン希望者などの受け入れ体制の整備と支援 など

6 たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーションに関する取り組み】

◎重点的な取り組み 世界遺産構成資産の保全と活用 など

7 ちからをつけるプロジェクト【行財政運営に関する取り組み】

◎重点的な取り組み 行政改革推進計画の着実な実施 など

総務厚生委員会での指摘

寄附申し込みの際、寄附者が使途を選択しやすい環境にすること。また、項目に追加は必要ないのか検討を！

意見書 可決

30人以下の学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(要約)

地方教育行政の実情を十分認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするための措置を講じられるよう強く要請します。

平成30年6月20日

長崎県平戸市議会

(提出先)

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

辻議員と田島議員が15年表彰を受賞

全国市議会議長会より、辻賢治議員(左)と田島輝美議員が議員在職15年以上の表彰を受けました。



6月定例会



ここに注目！



注目① 保健事業の評価向上に努めていく！

平成29年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

総務厚生委員会での主な議論

- Q 平成30年度から長崎県が国保の財政運営責任主体となったことで財政的不安は解消されるのか。
 A 長崎県から保険給付に必要な費用が全額市町へ交付されることから、毎年の保険給付費が不足することはなくなり、短期的な国保財政の不安は解消されるものと考えます。
- Q 県への納付金額より少ない支出（保険給付費）だった場合はどうなるのか。
 A 翌年度以降に平戸市が県に収める納付金に反映され調整される。

市の今後の取り組み

今回の国保制度改革は、特定検診受診率の向上や医療費抑制の施策を行い、事業評価が高くなるほど特別交付金が多く入る仕組みであることから、保健事業の評価向上に努め、保険税の負担軽減につなげていきたい。



注目② 農地保全へ今後の課題！

平成30年度平戸市一般会計補正予算（第1号）中、「多面的機能支払交付金事業」

多面的機能支払交付金とは

農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等）の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するための交付金。

産業建設文教委員会での指摘

今回、交付団体の活動中止に伴い、交付を受けた多面的機能支払交付金を返還することとなった。本事業は5年間継続する必要がある、それに満たない場合は、認定年度までさかのぼり、受け取った交付金を全額返還する必要がある。しかし、本事業は農地の保全等には必要な事業であることから、今後は活動組織の構成員が制度内容を理解し、活動が維持できるよう、これまで以上に指導を徹底するとのことであるが、今回の件を反省材料にして、今後に生かしていくように。



注目③ 人権意識を培う効果に期待！

平成30年度平戸市一般会計補正予算（第1号）中、「人権教育研究推進事業」

人権教育研究推進事業とは

人権教育総合推進地域（中部中学校区）の実態等に応じた総合的な人権教育によって、人権意識を培い、一人一人を大切に教育の充実【調査研究の推進体制の図】に資する研究を実施。

3カ年の推進計画

平成30年度：実態の把握と課題の確認
 平成31年度：研究の深化と追加の課題設定
 平成32年度：研究のまとめと研究の継続

